

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 5 月 10 日

事業所名 児童デイサービス 福すけ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	指導訓練室の中央に区切りを設け、環境の変化をつけている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1		人員配置を満たせるように、求人募集したり、人員が欠如しないように取り組んでいる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	階段には手すりを設置し、段差部分には色テープを貼り区別を付けている。	段差がある部分にはスロープを設置する等、改善を検討しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	スタッフミーティングや気付きノートにて情報を共有し意見交換をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	評価表・保護者様の意向等を業務改善につなげている。	スタッフ会議にて話し合いを行い、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		ホームページにて公開しているが、知らないスタッフには徹底して周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	事業所連絡会に参加し、行政や他事業所と意見交換を行っている。	外部評価は行っておらず、今後検討する必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0		専門の講師を招いて研修を積極的に取り組んでいきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	面談・手紙・電話にて意見交換をし作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		使用していない為、研修を受けた内容も踏まえて検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	ミーティング等で話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	ミーティング等で話し合い、個々に合ったプログラムを作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	状況に応じて支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	スタッフ会議を行い作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	ミーティングを行い確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	支援終了後は難しい為、毎朝スタッフミーティングを行い共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	ケース記録を作成し、気付きノートにも記入して、情報共有し改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングを行い、評価・課題などスタッフ会議にて判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	児発管が対応している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	送迎時、先生に学校での様子を伺うことがある。	学校での様子を共有したいが、なかなか難しい状況である。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3		医療的ケアが必要な児童を受け入れた事がなく、現段階では整備されていないが対象児童の利用時は検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	関係機関と情報共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	連絡があった場合には、保護者様からの了承を得たうえで、情報提供を行います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	児童発達支援センターや、行政機関の研修などに参加している。	保護者様にもお声掛けし、講師を招いて研修を行う予定をしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		機会を設ける事が難しいが、避難訓練や避難場所の確認など、地域の自治会や子供会の方々との取り組みを検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2	市の事業所連絡会に出席し意見交換や事例検討を行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時に保護者様と直接お話をしたり、電話や連絡帳に記載させていただいている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		今後はペアレントトレーニング研修の受講を検討したい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	利用契約時や個別支援計画完成時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	送迎時・連絡帳・お電話にて助言を行なっています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	ミニ運動会、模擬店を開催予定でしたがコロナ禍の為、中止となりました。	コロナが落ち着きましたら開催をしたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情・相談窓口を設置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	開放などは発行していないが、ブログに日々の活動内容の写真などを掲載しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付きのキャビネットに保管している。	職員には入職時と退職時に秘密保持契約書を交わしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	適切な意思疎通を心がけている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0	7		セキュリティや安全性を確保する為、招待は行っていません

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		現在、保護者様には周知できていない為、個別支援計画面談時に目を通して頂くように取り組んでいきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		利用児童にも参加して頂き、災害避難訓練を実施予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	行政にて行われる研修に参加した代表者が研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	チャイルドシートが必要な場合は、説明をし同意書を交わしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	利用契約時に有無を確認し、保護者様の指示通りに対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	その都度、ヒヤリハットを作成しています。	